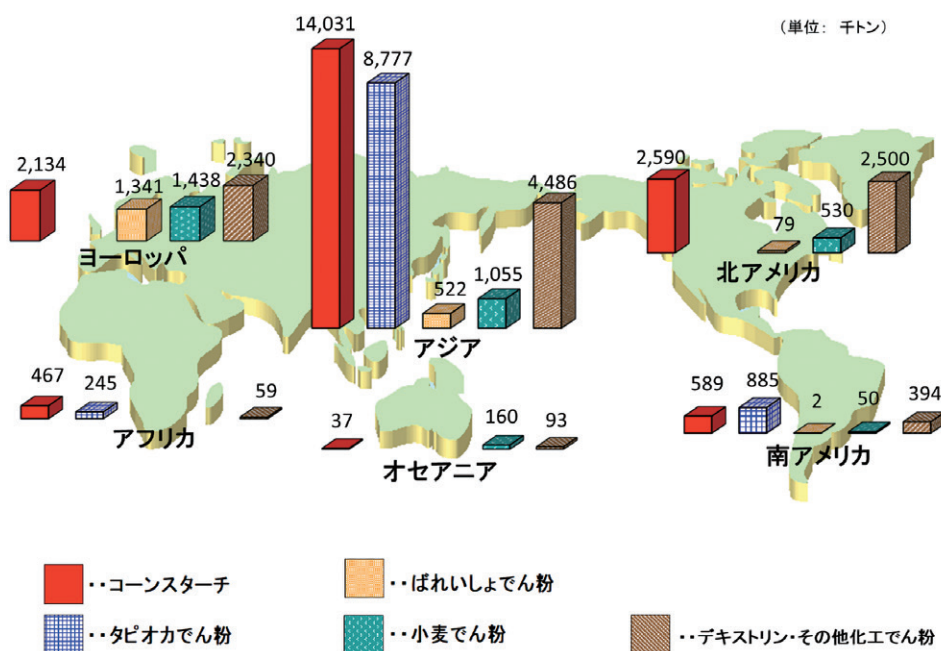


でん粉の国際需給

調査情報部 針ヶ谷 敦子

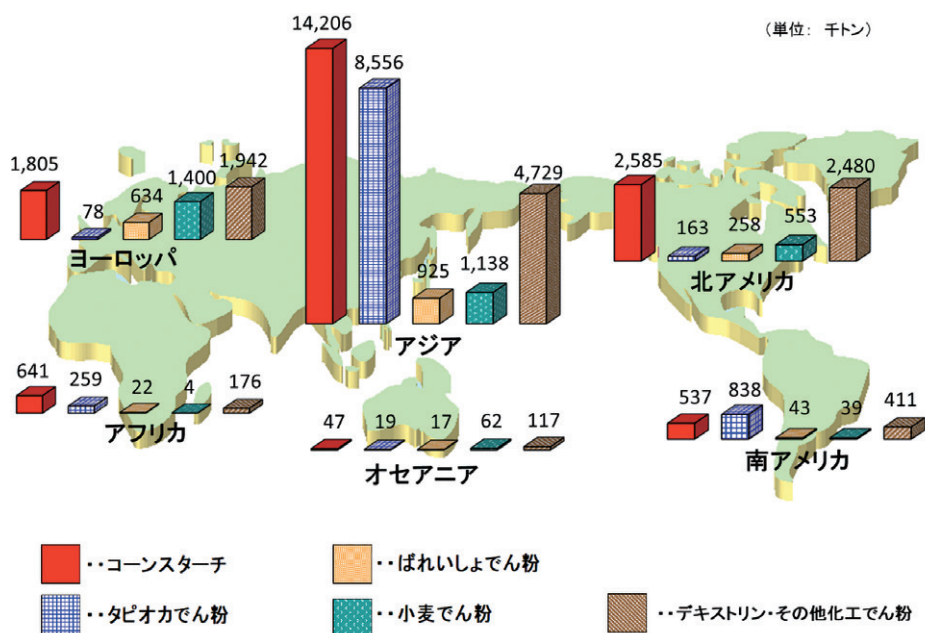
1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量 (2021年)



資料: LMC International ※「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 (※農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量 (2021年)



資料: LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場およびキャッサバ取引価格

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2019年	454.75	340.75	383.21	1.89	6.30
2020年	484.00	302.75	363.31	1.80	6.52
2021年	772.75	633.00	581.58	2.07	7.25
2022年	818.25	753.50	693.49	2.52	8.49
2022年7月	781.25	564.25	663.15	2.71	9.18
8	683.75	591.25	632.08	2.71	9.20
9	712.25	658.25	680.38	2.68	9.04
10	698.25	675.50	685.55	2.60	8.92
11	697.75	653.25	668.24	2.58	8.40
12	682.75	625.50	651.40	2.60	8.10
2023年1月	685.25	652.75	670.39	2.70	8.28
2	685.00	629.50	671.09	2.86	8.31
3	660.50	618.50	637.39	3.05	8.63
4	677.50	627.00	654.88	3.15	8.67
5	656.50	554.50	608.91	3.09	8.48
6	671.00	554.50	615.17	2.79	8.33
7	599.75	499.25	548.63		8.38

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：1ブッシェル（BU）は約25.401キログラム。

注2：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

2. 日本の品目別主要輸入先の動向

本稿中の為替レートは、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の2023年7月末日TTS相場の1米ドル=141.97円、1タイパーツ=4.20円、1ユーロ=156.85円を使用した。

トウモロコシ・コーンスターチ

世界

【需給動向：トウモロコシ】

世界の生産量、期末在庫は下方修正されたものの、前年度から増加

米国農務省世界農業観測ボード（USDA/WAOB）および米国農務省海外農業局（USDA/FAS）は2023年8月11日、2023/24年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した（表2）。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は12億1350万トン（前年度比5.4%増）と前月から1097万トン下方修正されたものの、前年度をやや上回り、過去2番目の生産量が見込まれている。地域別に見ると、ウクライナでは7月～8月初めにかけて天候に恵まれ、収量の増加見込みを受けて前月から上方修正された。一方で、米国や中国、EUなどでは下方修正された。中国北東部では、7月末から8月初めにかけて台風の影響による大雨・洪水に見舞われたことで生産量の減少が見込まれているほ

か、EUでは、特にハンガリー、ルーマニア、ドイツ、イタリアで熱波の発生などを受けて収量の減少が見込まれている。

輸入量は、世界全体で1億8711万トン（同7.6%増）と前月から129万トン下方修正された。地域別に見ると、カナダなどで上方修正されたものの、エジプトやアルジェリアでは下方修正された。

消費量は、世界全体で12億37万トン（同3.1%増）と前月から628万トン下方修正された。地域別に見ると、主要消費国である中国が据え置かれた中で、最大の消費国である米国は前月から114万トン下方修正された。

輸出量は、生産量が前月から下方修正された米国やEUの輸出量の減少などが反映され、世界全体で1億9619万トン（同10.5%増）と前月から207万トン下方修正された。

この結果、期末在庫は3億1105万トン（同4.4%増）と前月から307万トン下方修正されたものの、前年度からやや増加すると見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し（2023年8月11日米国農務省公表）

（単位：百万トン）

区 分	2021/22 年度	2022/23 年度 (推計値)	2023/24年度			
			(7月予測)	(8月予測)	前年度比 (増減率)	
米国	期首在庫	31.36	34.98	35.60	37.00	5.8%
	生産量	382.89	348.75	389.15	383.83	10.1%
	輸入量	0.62	0.89	0.64	0.64	▲ 28.1%
	消費量	317.09	306.34	314.59	313.45	2.3%
	輸出量	62.80	41.28	53.34	52.07	26.1%
	期末在庫	34.98	37.00	57.45	55.94	51.2%
アルゼンチン	期首在庫	1.18	1.50	1.51	1.51	0.7%
	生産量	49.50	34.00	54.00	54.00	58.8%
	輸入量	0.01	0.01	0.01	0.01	0.0%
	消費量	14.50	12.00	13.50	13.50	12.5%
	輸出量	34.69	22.00	40.50	40.50	84.1%
	期末在庫	1.50	1.51	1.51	1.51	0.0%
ブラジル	期首在庫	4.15	3.97	7.97	8.97	2.3倍
	生産量	116.00	135.00	129.00	129.00	▲ 4.4%
	輸入量	2.60	1.00	1.20	1.20	20.0%
	消費量	70.50	75.00	76.50	77.50	3.3%
	輸出量	48.28	56.00	55.00	55.00	▲ 1.8%
	期末在庫	3.97	8.97	6.67	6.67	▲ 25.6%
ウクライナ	期首在庫	0.83	7.59	1.39	1.39	▲ 81.7%
	生産量	42.13	27.00	25.00	27.50	1.9%
	輸入量	0.02	0.00	0.00	0.00	-
	消費量	8.40	5.20	5.50	5.50	5.8%
	輸出量	26.98	28.00	19.50	19.50	▲ 30.4%
	期末在庫	7.59	1.39	1.39	3.89	2.8倍
EU	期首在庫	7.83	11.36	7.08	7.19	▲ 36.7%
	生産量	71.52	52.23	63.40	59.70	14.3%
	輸入量	19.74	24.50	24.00	24.00	▲ 2.0%
	消費量	81.70	77.10	82.10	79.50	3.1%
	輸出量	6.03	3.80	5.00	4.10	7.9%
	期末在庫	11.36	7.19	7.38	7.29	1.4%
中国	期首在庫	205.70	209.14	205.32	205.32	▲ 1.8%
	生産量	272.55	277.20	280.00	277.00	▲ 0.1%
	輸入量	21.88	18.00	23.00	23.00	27.8%
	消費量	291.00	299.00	304.00	304.00	1.7%
	輸出量	0.00	0.02	0.02	0.02	0.0%
	期末在庫	209.14	205.32	204.30	201.30	▲ 2.0%
世界計	期首在庫	292.88	310.24	296.30	297.92	▲ 4.0%
	生産量	1218.71	1151.78	1224.47	1213.50	5.4%
	輸入量	184.44	173.84	188.40	187.11	7.6%
	消費量	1201.36	1164.10	1206.65	1200.37	3.1%
	輸出量	206.59	177.50	198.26	196.19	10.5%
	期末在庫	310.24	297.92	314.12	311.05	4.4%

資料：USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注：各国の穀物年度 世界、米国：9月～翌8月／ウクライナ、EU、中国：10月～翌9月／アルゼンチン、ブラジル：3月～翌2月。

米 国

【需給、価格動向：トウモロコシ】

単収が下方修正されたものの、生産量は過去2番目の高水準

USDA/WAOBは同日、2023/24年度（9月～翌8月）の米国のトウモロコシ需給見通しを更新した（表3）。

生産量は、単収の減少見込みを受けて151億1100万ブッシェル（3億8383万トン^{（注）}、前年度比10.1%増）と前月から2億900万ブッシェル（531万トン）下方修正されたものの、16/17年度に次ぐ過去2番目の生産量が見込まれている。

消費量は、123億4000万ブッシェル（3億1345万トン、同2.3%増）と前月から4500万ブッシェル（114万トン）下方修正された。用途別に見ると、でん粉やグルコース、デキストロースなどその他工業向けや飼料など向けでの利用の減少が見込まれている。

輸出量は、20億5000万ブッシェル（5207万トン、同26.2%増）と前月から5000万ブッシェル（127万トン）下方修正されたものの、前年度から大幅に増加すると見込まれている。

期末在庫は、22億200万ブッシェル（5593万トン、同51.1%増）と前月から6000万ブッシェル（152万トン）下方修正されたものの、前年度から大幅に増加し、高水準が見込まれている。

また、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は、15.3%（同4.7ポイント増）と引き続き前年度を上回る水準が予測されている。

生産者平均販売価格は、1ブッシェル当たり4.90米ドル（696円。1キログラム当たり27.4円、同25.8%安）と前年度からは大幅に下落すると見込まれている。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラム、1エーカーを約0.4047ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2023年8月11日米国農務省公表）

区 分	一単位一	2021/22年度	2022/23年度 (推計値)	2023/24年度			
				(7月予測)	(8月予測)	参考（換算値）	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	93.3	88.6	94.1	94.1	38.08 (百万ヘクタール)	6.2%
収穫面積	(百万エーカー)	85.3	79.2	86.3	86.3	34.93 (百万ヘクタール)	9.0%
単収	(ブッシェル/エーカー)	176.7	173.3	177.5	175.1	10.99 (トン/ヘクタール)	1.0%
期首在庫	(百万ブッシェル)	1,235	1,377	1,402	1,457	37.01 (百万トン)	5.8%
生産量	(百万ブッシェル)	15,074	13,730	15,320	15,111	383.83 (百万トン)	10.1%
輸入量	(百万ブッシェル)	24	35	25	25	0.64 (百万トン)	▲28.6%
総供給量	(百万ブッシェル)	16,333	15,142	16,747	16,592	421.45 (百万トン)	9.6%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,483	12,060	12,385	12,340	313.45 (百万トン)	2.3%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,719	5,425	5,650	5,625	142.88 (百万トン)	3.7%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,764	6,635	6,735	6,715	170.57 (百万トン)	1.2%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	5,326	5,225	5,300	5,300	134.63 (百万トン)	1.4%
輸出量	(百万ブッシェル)	2,472	1,625	2,100	2,050	52.07 (百万トン)	26.2%
総消費量	(百万ブッシェル)	14,956	13,685	14,485	14,390	365.52 (百万トン)	5.2%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,377	1,457	2,262	2,202	55.93 (百万トン)	51.1%
期末在庫率	(%)	9.2	10.6	15.6	15.3		4.7ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	6.00	6.60	4.80	4.90	27.4 (円/kg)	▲25.8%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は9月～翌8月。

注2：1ブッシェルは約25.401キログラム、1エーカーは約0.4047ヘクタール。

注3：換算値は端数処理の関係で表2と一致しない場合がある。

【貿易動向：トウモロコシ】

輸出量は前月から大幅に増加し、輸出価格は5カ月連続下落

2023年5月の米国のトウモロコシ輸出量は、611万8423トン（前年同月比15.3%減、前月比20.1%増）と前年同月からかなり大きく減少したものの、前月から大幅に増加した。同月の主要国・地域別輸出量は表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS^(注)）は、1トン当たり309.2米ドル（4万3897円、同11.3%安、同0.7%安）と5カ月続けて下落した。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる（FOB^{*}価格から横持ち料〈倉庫間の移動費〉、積み込み料、保険料などを差し引いた）価格。

※Free On Board：貨物を船に乗せた段階で支払われる取引条件。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（5月）

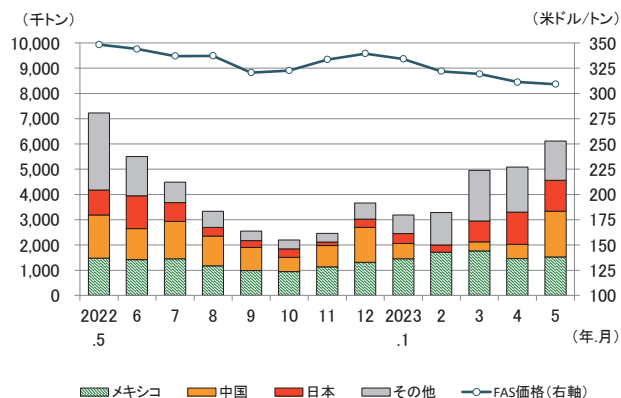
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	6,118,423	▲15.3%	20.1%
うち 中国	1,810,428	5.7%	3.2倍
メキシコ	1,518,125	3.1%	3.8%
日本	1,237,780	25.9%	▲2.8%
韓国	298,966	▲49.2%	2.4倍
コロンビア	213,140	▲61.6%	▲59.8%
エルサルバドル	139,829	2.3倍	4.6倍

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

（参考）米国のトウモロコシの国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

【貿易動向：コーンスターチ】

輸出価格は3カ月連続下落

2023年5月の米国のコーンスターチ輸出量は、1万3212トン（前年同月比12.8%減、前月比2.5%減）と前年同月からかなり大きく、前月からわずかに減少した。同月の主要国・地域別輸出量は表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり935.6米ドル（13万2827円、同17.6%高、同2.3%安）と、3カ月続けて下落した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	13,212	▲12.8%	▲2.5%
うち メキシコ	8,425	0.1%	▲16.0%
カナダ	3,582	▲26.1%	29.9%
中国	295	▲31.7%	77.7%
アイルランド	152	NA	50.7倍
コスタリカ	117	NA	3.3倍
日本	107	▲26.2%	5.6倍

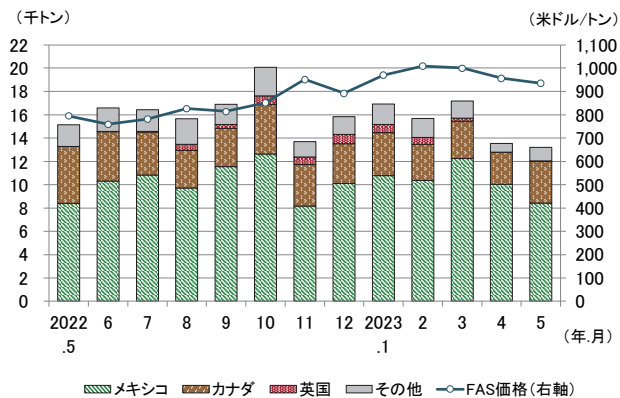
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

注3：「NA」は、事実不明なもの。

(参考) 米国のコーンスターチの国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

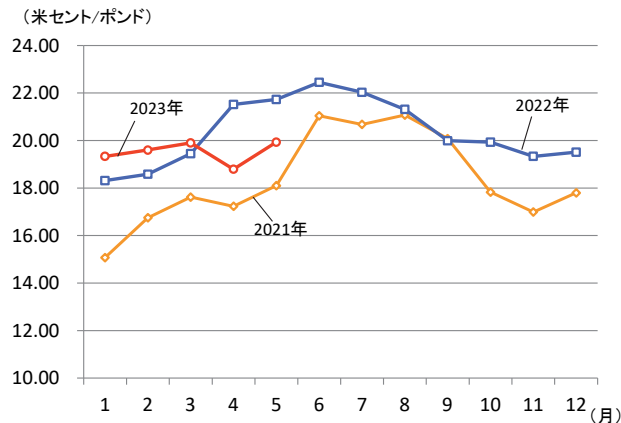
注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国中西部市場における23年5月のコーンスターチ価格は、1ポンド当たり19.93米セント^(注)（28.3円、前年同月比8.3%安、前月比6.1%高）と前年

同月からかなりの程度下落したものの、前月からかなりの程度上昇した。

(注) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(参考) 米国中西部市場におけるコーンスターチ価格の推移



資料：USDA/ERS

タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

23/24年度のキャッサバ生産量は増産見込みも、少雨が懸念される

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の予測（2023年7月）によると、2022/23年度（10月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は973万ライ

（156万ヘクタール^(注)、前年度比1.9%減）、単収は1ライ当たり3.36トン（1ヘクタール当たり21.02トン、同2.1%減）、生産量は3273万トン（同3.9%減）といずれも前月から据え置かれた（表6）。

また、同省は23/24年度のキャッサバや米、トウモロコシなど主要農産物20品目の生産予測に関する委員会が開催されたことを公表した。同省ホームページによると、23/24年度のキャッサバの収

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	—単位—	2020/21年度	2021/22年度 (予測)	2022/23年度		
				(6月予測)	(7月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	1,041	992	973	973	▲1.9%
単収	(トン/ライ)	3.37	3.43	3.36	3.36	▲2.1%
参考（換算値）	(トン/ha)	21.06	21.46	21.02	21.02	-
生産量	(万トン)	3,509	3,407	3,273	3,273	▲3.9%

資料：OAE「農業経済2023年7月」

注1：年度は、10月～翌9月。

注2：1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

穫面積は162万ヘクタール、単収は1ヘクタール当たり20.8トン、生産量は3377万トンと予測されている。前年度から3.2%の増産が見込まれているものの、1月～7月の累積降雨量は国内の各地域で例年を下回っており、キャッサバの主要産地でも平年から10～40%程度減少している。今年の雨期（6月～10月）は例年に比べて少雨と予想されており、今後の気象状況によっては上記の生産見込みを下回る可能性もある。

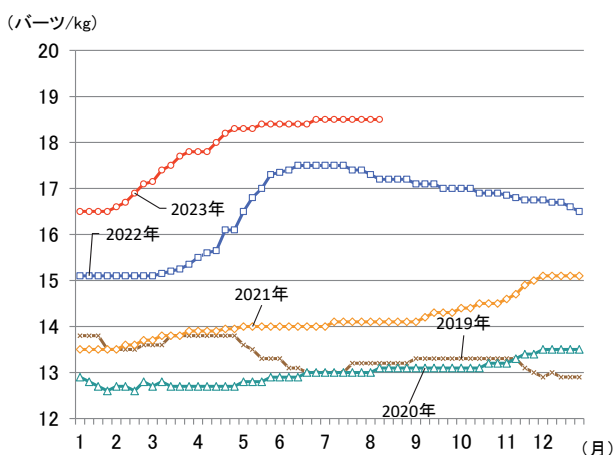
(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

【価格動向】

国内価格は18バーツ台を推移

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2023年8月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり18.5バーツ（78円、前年同期比6.9%高）と前年同期からかなりの程度高値となった（図3）。国内価格は22年4月以降、原料費や燃料費の上昇に加えて、中国向けキャッサバ関連製品の堅調な輸出も含めた国内外からの高い需要を受けて急騰した後、高止まりで推移している。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注：当該週の原則火曜日の価格。

【貿易動向】

輸出価格は7カ月連続上昇

2023年6月のタピオカでん粉輸出量は、15万7144トン（前年同月比31.9%減、前月比12.0%減）と前年同月から大幅に、前月からかなり大きく減少した。同月の主要国・地域別輸出量は表7の通りである。

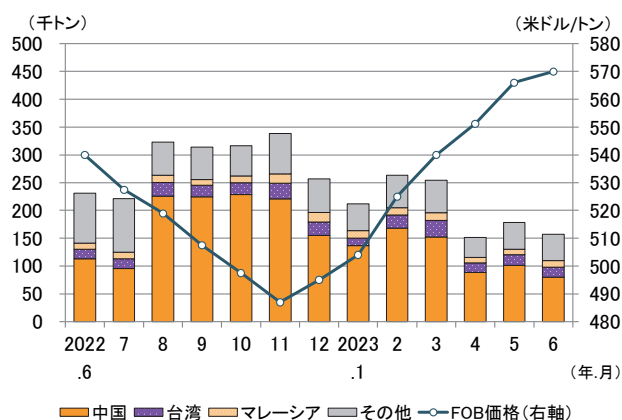
同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり570米ドル（8万923円、同5.6%高、同0.7%高）に上昇し、18年5月以来となる550米ドルを超える高水準が続いている。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	157,144	▲31.9%	▲12.0%
うち 中国	80,121	▲29.0%	▲20.8%
台湾	17,873	3.7%	▲8.7%
マレーシア	11,887	6.5%	22.8%
日本	9,262	▲18.1%	▲5.8%
フィリピン	8,105	9.6%	13.4%
米国	5,169	48.4%	▲25.4%

資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1108.14
注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

(参考) タイのタピオカでん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注1：HSコード1108.14
注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。
注3：価格は、バンコクのFOB価格。

ベトナム

【生産動向】

各地で大雨による被害が発生

ベトナムの民間調査会社（AgroMonitor）によると、北部最大のキャッサバの主産地であるソンラ省では2023年の作付面積が3万～3万5000ヘクタール程度とされ、22年の4万7000ヘクタールから大幅に減少すると推測されている。これは、2月頃から高温乾燥気候が続いたことや、キャッサバの苗が不足して再植も進んでいないことなどが要因とみられており、今期の収量への影響が懸念されている。一方で、8月に入り同国北部では、局地的な激しい降雨から洪水被害なども確認され、ソンラ省を含む北部地域では土砂崩れなどにより10人の死傷者が出ているとされている。8月7日現在もソンラ省では大雨や地滑りの発生などに注意が呼びかけられている。

また、南部地域でも今年の雨季は平年に比べて雨量が多く、22年のキャッサバ生産量（速報値）で同国第7位のビントゥアン省では、7月末から8月にかけて大雨が続き、川沿いのキャッサバ、トウモロコシ、ドラゴンフルーツなどの圃場^{ほじょう}や、鶏舎などで浸水被害が発生したと報道されている。しかし、具体的な農業被害状況については確認できておらず、北部や南部で被害のあった地域では、道路や電力の復旧などのインフラ整備や、食料品や毛布の配布など住民の生活支援が優先されている。

同国でのキャッサバモザイク病^{（注1）}は、6月29日現在、合計5万8500ヘクタールで感染が確認され、前月比6.6%減となったものの、引き続き同病による被害の発生が懸念される^{（注2）}。

（注1）ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最悪の場合には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカ

ンボジアの一部で流行が確認されている。

（注2）同国のキャッサバ作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタール程度で推移している。

【貿易動向】

6月の輸出量は前月からやや減少し、輸出価格は6カ月ぶりに下落

AgroMonitorによると、2023年6月のタピオカでん粉輸出量は、10万1580トン（前年同月比50.3%減、前月比3.5%減）と前年同月から大幅に、前月からやや減少した。同国の主要国・地域別輸出量は表8の通りである。

同月の輸出価格（CFR^{（注）}・中国向け）は、1トン当たり532米ドル（7万5528円、同3.1%高、同1.3%安）と前月から下落したものの、高水準を維持した。

（注）Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	101,580	▲50.3%	▲3.5%
うち 中国	93,279	▲51.8%	▲3.9%
台湾	2,960	13.6%	▲7.2%
フィリピン	1,521	▲54.9%	NA
オランダ	618	81.8%	6.9倍
シンガポール	436	2.7倍	4.6%
韓国	430	15.6%	37.4%

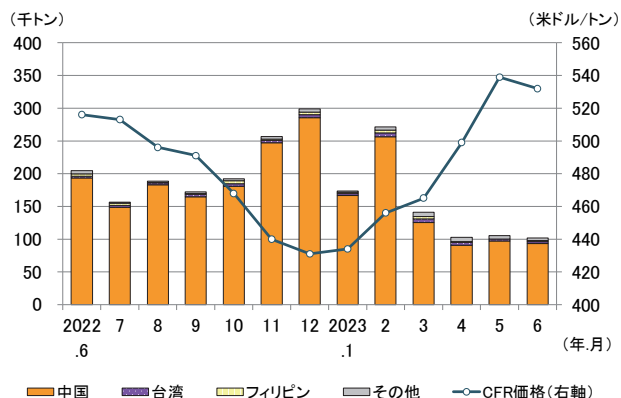
資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

注3：「NA」は、事実不明なもの。

(参考) ベトナムのタピオカでん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR価格。

ばれいしょでん粉

EU

【貿易動向】

輸出価格は2カ月連続下落も高水準

2023年5月のばれいしょでん粉輸出量^(注)は、3万5324トン（前年同月比12.1%増、前月比17.6%増）と前年同月からかなり大きく、前月か

ら大幅に増加した。同月の主要国・地域別輸出量は表9の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり1032ユーロ（16万1869円、同43.4%高、同1.5%安）と2カ月連続で下落した。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（5月）

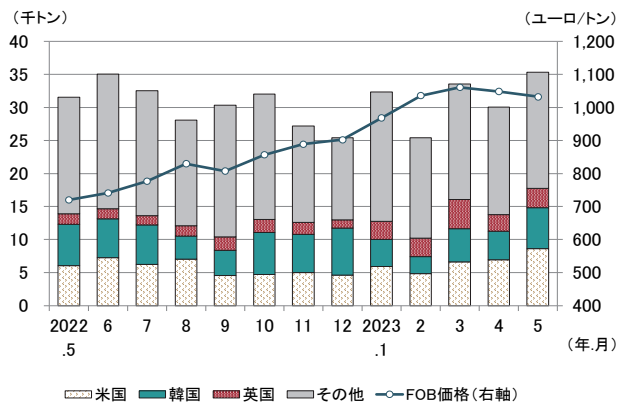
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	35,324	12.1%	17.6%
うち 米国	8,614	42.3%	24.3%
韓国	6,199	▲1.0%	42.8%
英国	2,950	83.6%	18.7%
中国	2,073	2.3倍	9.5%
メキシコ	1,560	63.7%	16.3%
日本	1,312	29.6%	4.2倍

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

コラム 欧州主要国のでん粉原料用ばれいしょ生産動向—フランス—

世界最大のばれいしょでん粉生産地域である欧州では、デンマーク、フランス、オランダおよびドイツの4カ国が主産国とされている。本コラムでは、この中のフランスのばれいしょの生産動向について紹介する。

フランス農業・食料省の農業統計局（Agrest）によると、2022年は乾燥した気候が続き、雨不足や夏の熱波の影響を受けてばれいしょの生産量は21年から1割程度減少した（コラム—表）。また、フランスばれいしょ生産者連盟（UNPT）によると、同年の単収は過去27年で最低水準だったとしている。

近年、でん粉原料用ばれいしょは、単収の低下や生産コストの高騰により作付面積が減少傾向にあり、生産者の経営状況の悪化が懸念されている。このような中、フランス農業・食料省は、今後のでん粉原料用ばれいしょの生産量の維持や、川下産業の存続を目的としたでん粉原料用ばれいしょ生産者に対する経営支援を決定した^(注)。ただし、23年の作付けはこの支援の決定前に行われていたことから、でん粉原料用ばれいしょの作付面積は22年からさらに1割程度の減少が見込まれている。

23年の生育状況を見ると、3月～4月には降雨により播種作業が中断され、収量への影響が懸念されていたが、その後の平均を上回る日射量や気温により状況は回復しており、先の降雨により土壌深くでは十分な水分が保たれている。ただし、今後の順調な生育のためには、より多くの降雨が必要とされている。欧州委員会研究センター作物モニタリングサービス（JRCMARS）によると、23年の同国のばれいしょの単収は、1ヘクタール当たり39.9トンと過去5年平均（同40.2トン）とほぼ同等の水準になるとしている。

(注) でん粉原料用ばれいしょ生産者に対する経営支援については、2023年8月4日付海外情報「でん粉原料用ばれいしょ生産者に対する経営支援を決定（フランス）」(https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_003578.html)を参照されたい。

コラム—表 フランスの用途別ばれいしょの作付面積、単収および生産量の推移

(単位：千ha、トン/ha、千トン)

		2018年	19年	20年	21年	22年	23年
作付面積	でん粉原料用	24	22	24	24	21	19
	種いも用	22	23	23	24	24	-
	食用	154	162	169	163	167	153
	合計	200	207	216	211	212	-
単収	でん粉原料用	40	44	37	45	39	-
	種いも用	28	30	31	33	30	-
	食用	41	43	43	44	39	-
	合計（平均）	39	41	40	42	38	-
生産量	でん粉原料用	957	959	893	1,076	822	-
	種いも用	606	696	707	780	714	-
	食用	6,218	6,811	7,115	7,033	6,433	-
	合計	7,781	8,466	8,716	8,889	7,970	-

資料：Agrest

注：23年は予測値であり、「-」は未公表。

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要国・地域別輸出量および輸出価格は、以下の通りである。

タイ

【貿易動向】

6月の輸出量は前月からわずかに増加

2023年6月の化工でん粉の輸出量は、8万8418トン（前年同月比15.6%減、前月比1.5%増）と前年同月からかなり大きく減少したものの、前月からわずかに増加した。同月の主要国・地域別輸出量は表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出量（6月）

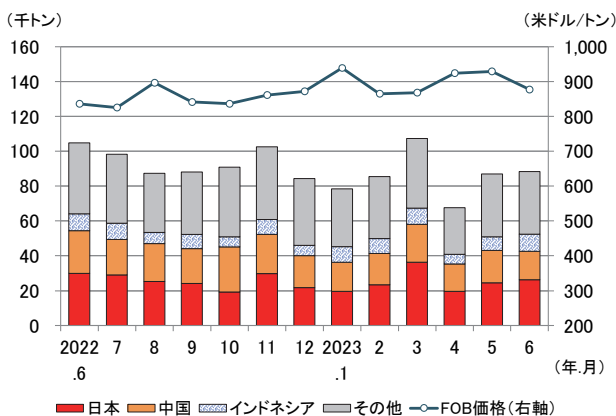
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	88,418	▲15.6%	1.5%
うち 日本	26,287	▲12.5%	7.0%
中国	16,333	▲32.9%	▲12.8%
インドネシア	9,918	0.9%	28.8%
韓国	9,047	3.0%	46.6%
インド	4,018	45.4%	▲33.6%
米国	2,900	▲43.5%	▲19.5%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

（参考） タイの化工でん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

米国

【貿易動向】

5月の輸出量は前月からやや増加

2023年5月の化工でん粉の輸出量は、2万3785トン（前年同月比21.3%減、前月比3.9%増）と前年同月から大幅に減少したものの、前月からやや増加した。同月の主要国・地域別輸出量は表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量（5月）

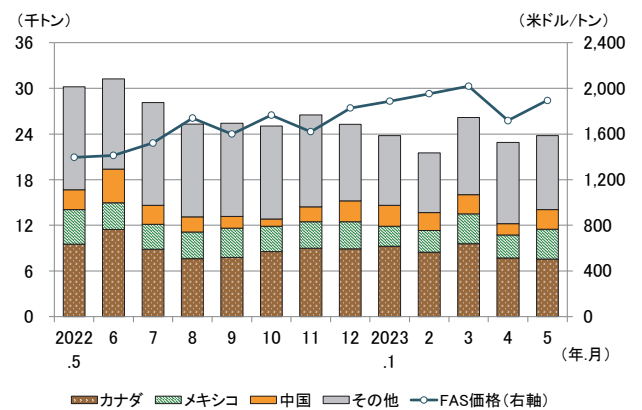
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	23,785	▲21.3%	3.9%
うち カナダ	7,560	▲20.9%	▲2.1%
メキシコ	3,960	▲11.8%	31.0%
中国	2,529	▲4.3%	68.8%
ブラジル	838	28.3%	4.6倍
フィリピン	718	3.5倍	18.5%
アラブ首長国連邦	615	77.7%	▲3.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

（参考） 米国の化工でん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

【貿易動向】

6月の輸出量は前月からかなりの程度減少

2023年6月の化工でん粉の輸出量は、1万1451トン（前年同月比4.6%増、前月比7.5%減）と前年同月からやや増加したものの、前月からかなりの程度減少した。同月の主要国・地域別の輸出量は表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（6月）

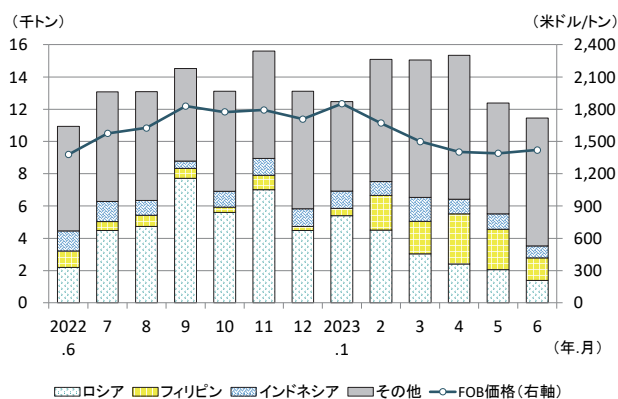
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	11,451	4.6%	▲7.5%
うち フィリピン	1,396	37.0%	▲44.4%
ロシア	1,388	▲36.5%	▲32.4%
米国	1,123	5.1倍	2.5倍
台湾	877	55.2%	77.9%
インドネシア	734	▲42.0%	▲23.5%
ベトナム	672	▲11.7%	28.5%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

（参考）中国の化工でん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

EU

【貿易動向】

5月の輸出量は前月から大幅に増加

2023年5月の化工でん粉の輸出量^(注)は、4万3947トン（前年同月比4.1%減、前月比16.8%増）と前年同月からやや減少したものの、前月から大幅に増加した。同月の主要国・地域別の輸出量は表13の通りである。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（5月）

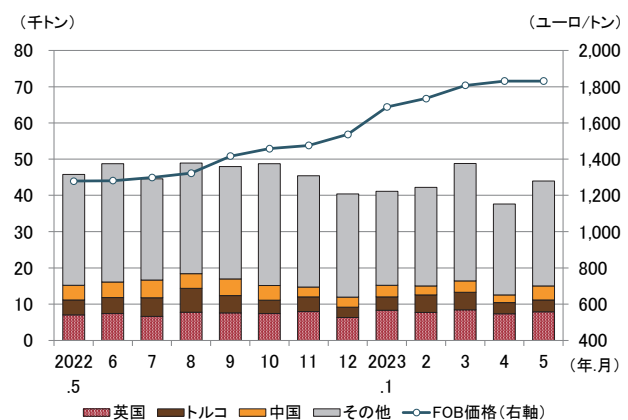
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	43,947	▲4.1%	16.8%
うち 英国	7,908	12.3%	8.4%
日本	3,968	29.8%	39.0%
中国	3,922	▲2.3%	85.0%
トルコ	3,228	▲22.1%	3.0%
韓国	3,052	24.4%	34.8%
米国	2,585	▲16.4%	24.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、当該月の上位6カ国・地域を表示。

（参考）EUの化工でん粉の国・地域別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

豪州

【貿易動向】

5月の輸出量は前月からかなりの程度減少

2023年5月の化工でん粉の輸出量は、1887トン（前年同月比51.7%減、前月比10.4%減）と前年同月から大幅に、前月からかなりの程度減少した。同月の主要国・地域別の輸出量は表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（5月）

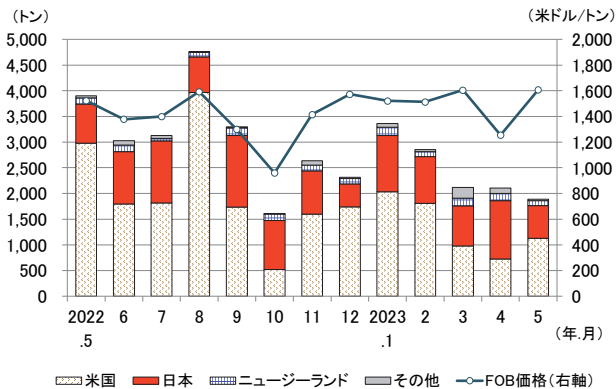
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	1,887	▲51.7%	▲10.4%
うち 米国	1,126	▲62.2%	55.5%
日本	641	▲15.7%	▲43.4%
ニュージーランド	91	▲24.8%	▲37.7%
台湾	21	10.5倍	▲41.7%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、当該月の上位4カ国・地域を表示。

（参考） 豪州の化工でん粉の国・地域別輸出量 および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。